

第481回 7月22日開催
出席委員（50音順・敬称略）

荒巻 裕	大村 英昭
木下 明美	倉光 弘己
黒田 勇	櫻井 美幸
深井 麗雄	森 輝彦

ラジオ・報道番組

「MBSニュースワイド アングル」

03年7月7日（月）午後4時～5時33分 放送分

***櫻井委員**

内容的にはややハードで、聞く側としてはちょっとしんどいかなという印象を受けたが、ひとつのテーマをいろいろな角度から掘り下げていて、分かりやすく勉強になる番組だと思う。またパーソナリティーも内容をよく理解していて、コメンテーターの説得力のある解説とよくかみ合っていた。

***深井委員**

ラジオは音と声だけの媒体なのだから、そこにもっと執着してもよいのではないか。例えば談話ひとつにしても、原稿にしたものを読み上げるのと本人の肉声とでは、訴える力がまったく違うと思う。もっとニュース現場の声や音を生かした立体的な番組作りに、積極的に取り組んでみたらどうか。

***木下委員**

女性が年を重ねて行く中での存在といったものを、常々考えている。パーソナリティーの水野さんはいい年を重ねていて、安心して聞けるし、何よりも彼女には生き方の上でほどよい色合いが出てきていると思う。新しい女性パーソナリティーとして、それなりのポジションを与えてもよいのではないか。

***黒田委員**

ラジオは、ある種のパターン、型というのが非常に大事なメディアではないか。そのラジオの最も大切というか唯一の役割は、メインのアンングルに対して別のアングルを提供することだと思う。同じアングルからでは見えないものを、別のアングルから見せるというのが、この番組の最大の良さである。

***倉光委員**

ニュースワイド番組というのは、幕の内弁当のように中味が大体仕切られているが、

この番組は話題によって柔軟に構成されていて工夫の後が見られる。内容的にも、ニュースを井戸端会議風に料理しているが、嫌味を感じさせない、ほどよい面白さがある。さすがニュースワイドの老舗と言える。

* 荒巻委員

耳を傾けながら考えることができる、うまく構成されたニューストーク番組である。ラジオの可能性、つまりラジオに何ができるのかということを追求する制作者の前向きの姿勢を感じさせた。今後も、ユニークなアジアへの視点など、他局にはない特色を十分に生かして行ってほしい。

* 大村副委員長

最近のメディア報道を見ていると、イラク戦争報道を含め単眼的というか表面的な印象をどうしても否定できない。ラジオのニュースワイド番組は、テレビと違ってかなり鮮明な色合いを出すことができると思う。この番組も、問題の核心に鋭く迫るといふ姿勢を貫き通して行ってほしい。

* 森委員長

この番組はパーソナリティーが社員なので、極端なことを言えばスポンサー探しから何から何まですべて番組スタッフの社員が責任を持ってする代わりに、番組として思い切った挑戦をさせてみたらどうか。可能性を秘めている番組だからこそ、あえて提案をしてみた。

6月に行われたラジオの夏季聴取率調査の結果について、ラジオ局長が報告した。

放送局の再免許の申請に伴う「放送番組の編集に関する基本計画」について、「テレビのデジタル放送」や「地上デジタル音声実用化試験放送」などの項目の追加や変更を番組審議会に諮問し、了承を得た。

* 追加項目

【テレビジョン放送（デジタル）】

1. テレビジョン放送（アナログ）の放送番組の編集に関する基本計画の踏襲

テレビジョン放送（デジタル）は、現行テレビジョン放送（アナログ）を置き換える放送であるので、総務省の定めた免許方針に規定されたアナログ放送との同時（サイマル）放送の時間比率を遵守し、アナログ放送番組の編集に関する基本計画を踏襲する。

2. デジタル放送の特性を活用した番組の実施

高精細のハイビジョン映像、多チャンネル放送、データ放送、携帯・移動体向け放送などデジタル放送の特性を活用した放送の実施、拡充に努める。

【地上デジタル音声放送実用化試験放送】

1. 調和のとれた番組編成

社団法人デジタルラジオ推進協会の行なう地上デジタル音声実用化試験放送での放送番組供給にあたっては、教養、報道、娯楽などの各種番組に関し調和のとれた編成を考え、地上デジタル音声放送の持つ社会的、文化的、地域的使命を果たすように努める。

2. デジタル音声放送の特性を活用した番組の実施

高音質、高機能な放送などデジタル音声放送の特性を活用した放送の実施、拡充に努める。

*変更項目

【テレビジョン放送】の【文字多重放送】

2. 情報番組の内容補完

料理番組のレシピ等、幅広い生活情報を重点に編集する。

平成15年7月22

日改正